

造船業を中心に急増する「特定技能」労働者の管理DXアプリを使って愛媛県に人材が定着する仕組みを作っていく。



採択事業者名

KUROFUNE株式会社

コンソーシアム構成員

四国電熔 | 大西塗装 | 渡辺建設 | 仲渡工業

勉強会の実施概要

コンソ内部のみ		含む外部	
実施回数の累計	4	実施回数の累計	1
参加人数のユニーク累計	52	参加人数のユニーク累計	20

代表的な実施事例

狙いとゴール	本事業に対する取り組みを紹介するとともに、「特定技能」の制度を紹介することがこれから特定技能労働者を雇用する企業が正しい知識を持って職場環境を作っていくように啓発していく。
実施の成果	今治市内の企業15社が参加(矢野鉄工、MY(自動車整備)など)参加企業のうち3社が令和7年度の実装に興味を示した。
実施アジェンダ 協議内容	外部の行政書士を呼んで「特定技能」ビザの制度を紹介し、大西塗装・四国電熔にてどのような取り組みをしているか紹介していただいた。その後、パネルディスカッション形式で今後の今治での展開について協議した。
参加者の一例	令和6年度実装先:2社 外国人採用を行っている会社:5社 その他(県職員など):8社
次年度以降の 想定アクション	今治市内での勉強会を半年に1回行っていく(造船業の発注元も招待していく)中予・南予地区にも勉強会を広げていく。



	介護	ビレクリ	製造業	建設	造船	自動車整備	航空	宿泊	農業	漁業	食品加工	外食業	合計
2020年12月	14	1	24	4	104	0	0	0	35	1	58	0	241
2021年12月	99	1	48	22	304	4	0	0	63	9	168	5	753
2022年12月	256	3	158	81	911	20	0	0	194	18	467	11	2,119
2023年12月	506	4	362	171	1,177	35	0	0	270	38	692	32	3,287

※出入国管理庁より引用

データ活用・協議の具体例

重要指標例	データ活用・協議の具体例	
	実装前	実装後
データ取得 データ活用 実行 業務反映	・登録支援業務の見える化(同行内容・チャットでの相談内容) ・「特定技能」労働者の行動の見える化	
	アナログ支援が多かったために「特定技能」労働者が困った際に場当たりの支援が多かった。	「特定技能」労働者が困ったときにアプリを使ってサポートするようになった。企業は管理画面を通じて困っていることや支援内容を把握できるようになった。
	支援内容をアプリにて記録していく	支援内容をアプリにて記録していく
	支援業務が見える化されることで、「特定技能」労働者が何に困っているのかを把握できるようになった。	困っていることを把握できることで、企業として人材の流出を防止するために「何をしなければならぬのか」を知ることができるようになった。
各社が人材の流出を防止するために情報を明るみにすることはなかった。	得られた情報を抽象化することで、業界特有の悩みなどを事前に把握することができる。	

代表的な実施事例

「特定技能」労働者が休日にやる事がないと困っていたことが把握でき、スポーツイベントを行う必要性を認識するようになった。
→FC今治との共同イベントにて業界全体へと広げていく予定である。